

PHONIC

i7600

i7600 i SUPPER CURVE



取扱説明書

i7600

i7600 i SUPPER CURVE

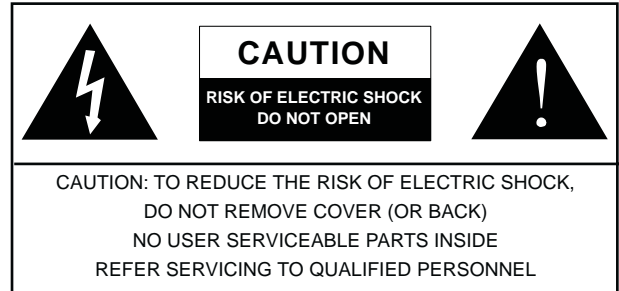
CONTENTS

基本性能	3
ご使用頂く前の準備	3
設定	4
EQ モジュール/コントロール、ディスプレイ	7
機能	7
RTAモジュール	9
仕様	11
ファクトリープログラム	12
ユーザー・プログラム	13
寸法	23

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

基本性能

- ・ 1U サイズ
- ・ 計780 個のLED を装備
- ・ デュアルチャンネル、30 バンド、1/3 オクターブ・デジタル・グラフィック・イコライザー
- ・ デュアルチャンネル、29 バンド、リアルタイム・スペクトラム・アナライザー(RTA)
- ・ 24bit AD/DA コンバーター、32bit デジタルプロセッサー(DSP)
- ・ ±12dB ブースト/カット
- ・ チャンネル-リンク機能
- ・ 60プログラム保存 (30 ファクトリー・セット、30 ユーザー・セット)
- ・ 選択可能なRTA ライン信号単位 (dBu またはdBV)
- ・ 6種類のバンド・レベル測定範囲
- ・ 6レスポンス・タイム・オプション(35m sec、125m sec、250m sec、500m sec、1sec、2sec)
- ・ ピーク・ホールド・オプション (ON/OFF 機能)
- ・ 3つのWeighting 切替機能 (A、C、フラット)
- ・ ピンクノイズ・ジェネレーター搭載 (0dB バランス・テスト信号)
- ・ バイパス機能
- ・ レベル調整可能なロー・パス・フィルター(LPF)、ハイ・パス・フィルター(HPF)
- ・ バランスXLR、1/4"フォン端子
- ・ 入力/出力で個別に設定可能な +4dBu/−10dBV オペレーティング・レベル
- ・ キー・ロック機能搭載
- ・ 自動保存機能(10秒間操作がない場合)

ご使用頂く前の準備

1. 必ず付属の電源コードを使用して下さい。
電源電圧が必ず100V 50/60Hz であることをご確認ください。
2. ミキサーや音響機器のステレオ出力をi7600 のCH 1、CH 2 ANALOG IN に接続します。
3. CH 1、CH 2 の ANALOG OUT からアンプやパワードスピーカーに接続します。
4. ANALOG IN のオペレーティングレベルをミキサーのレベルに合わせ、ANALOG OUT のオペレーティングレベルはスピーカーのレベルに合わせてください。
(OPERATING LEVEL スイッチで切替可)
5. i7600の電源をONにします。

設定

コントロール・ディスプレイ

i7600はEQ、RTA、2つのモジュールで構成されております。EQ モジュールは4つのコントロールモード、RTA モジュールは3つのモードがあります。コントロールツマミの機能、また本体が表示する情報は選択されたモジュール、コントロールモードによって変化します。

バンドレベル・ディスプレイ

左パネルでチャンネル1の周波数及び信号レベルを表示します。チャンネル2は右パネルで表示します。各列ごとに1/3オクターブずつ間隔を空けた、合計30種類の周波数帯域で表示します。各列の下部にてバンドの中心周波数を表示します。

英数字ディスプレイ

ディスプレイに表示される内容は現在選択されているディスプレイ・モードによって異なり、一行目にシステムおよび特定のチャンネルに関わる情報が表示され、二行目は特定の帯域に関する情報、各機能の名称、設定値が表示されます。

Clip Warning

過負荷容量以上の信号レベルが入力された時は、システム回路への損傷を防ぐ為、音声信号が自動的に圧縮されます。クリッピングがチャンネル1、2のどちらか、または両チャンネルで起こった場合、ディスプレイ上に警告メッセージが表示されます。メッセージの内容は以下の通りです。

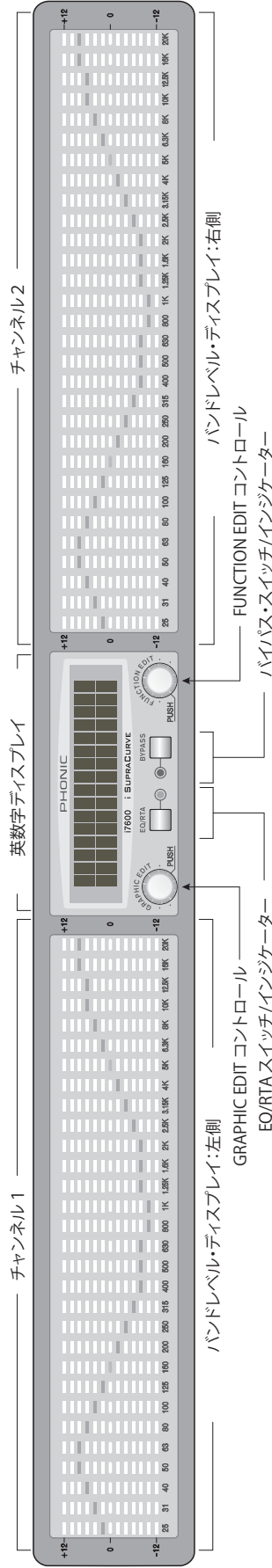
ディスプレイ	意味
Clip1	チャンネル1でクリッピング
Clip2	チャンネル2でクリッピング
Clip1+2	両チャンネルでクリッピング

もし、ディスプレイ上にクリッピング警告メッセージが表示され続ける場合は、信号レベルを下げて下さい。i7600に搭載されているRTAモジュールを使用すれば、クリッピングを発生させている周波数を特定可能です。クリッピングしている信号が入力側(PRE EQ)、出力側(POST EQ)のどちらなのかも特定することが可能です。

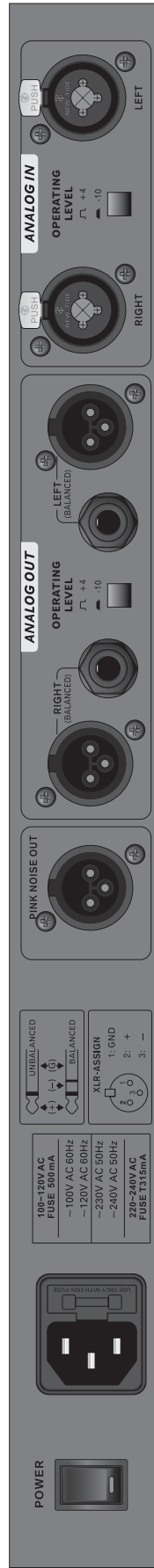
	EQ Module				RTA Module		
	Band Select Mode	Band Edit Mode	Function Select Mode	Function Edit Mode	Band Select Mode	Function Select Mode	Function Edit Mode
EQ/RTAインジケータ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン
表示情報(2行目)	周波数特性	周波数特性	機能	機能	周波数特性	機能	機能
文字点滅(2行目)			全ての行	数値のみ		全ての行	数値のみ
カーソル点滅速度	遅い	速い			遅い		

選択されたモジュールおよびコントロールモードのヒント

フロントパネル



リアパネル



EQ/RTA スイッチ/インジケータ

EQ/RTA ボタンを押すと、EQ モジュールとRTA モジュールの切替が可能です。RTA モジュールを選択すると緑色のLED が点灯します。

バイパス・スイッチ/インジケータ

Bypassスイッチを押すとバイパス機能のON/OFFが可能です。チャンネルをバイパスすると、EQ設定がその入力信号には適用されなくなります。バイパス中のチャンネルは赤いインジケータで表示されます。バイパス中は入力信号と全く同じ音で出力されます。オリジナルの音と加工後の音の比較が可能です。

注意：

チャンネルリンクの設定により、バイパススイッチの対象が異なります。チャンネルリンクがONの場合、両チャンネルに適用され、OFFの場合はバイパススイッチの対象になるチャンネル(CH1、2)はカーソルの位置により変化します。(バンドレベル・ディスプレイで点滅しているLED、または左寄り点灯しているLED)

GRAPHIC EDIT コントロール

バンド設定を行います。

FUNCTION EDIT コントロール

システムやチャンネル設定を行います。

EQ モジュール コントロール、ディスプレイ

単一バンド編集

EQ/RTA インジケーターがOFFの状態、GRAPHIC EDIT ツマミを押します。これによりEQ BAND SELECT モードになり、バンドが選択可能になります。バンドを選択するには、GRAPHIC EDIT ツマミを回します。オレンジ色のLED がゆっくり点滅している方が選択されたバンドです。チャンネル1 の選択を解除して、チャンネル2 を選択する場合はGRAPHIC EDIT ツマミを右回りに回します。もう一度GRAPHIC EDIT ツマミを押すと、カーソルの点滅スピードが速まり、ブースト/カットレベルを設定可能です。このモードの状態、GRAPHIC EDIT ツマミを回すと、バンドのゲインレベルをブースト/カットすることが可能です。編集が終わったら、GRAPHIC EDIT ツマミを再度押すと、EQ BAND SELECT モードに戻ります。

複数のバンド編集

EQ BAND SELECT モード中、FUNCTION EDIT ツマミを回すと複数のバンドをグループとして選択することが可能です。

例：

チャンネル1 の10K バンドLED が点灯中だとします。

FUNCTION EDIT ツマミを2メモリ分右に回します。

10K、12.5K、16KのLED が点灯します。

5メモリ分右に回した場合、チャンネル1 は10K、12.5K、16K、20KHz、チャンネル2 は25、31HzのLEDが点灯します。つまりチャンネルリンク機能を起動しなくてもCH1、2をリンクすることが可能ということです。

両チャンネルの全周波数帯域にて、リンク機能を起動することなく、即座にブースト/カットレベルの変更が可能です。

グループを選択した状態で、GRAPHIC EDIT ツマミを押してEQ BAND EDIT モードに入ります。LED の点滅が速くなります。GRAPHIC EDIT ツマミを回すと、選択されたバンドのブースト/カットレベルをまとめて編集できます。GRAPHIC EDIT ツマミを再度押すと、EQ BAND SELECT モードに戻ります。

機能

EQ/RTA インジケーターが消えた状態でFUNCTION EDIT ツマミを押すと、EQ FUNCTION SELECT モードになります。このモードでは、ディスプレイの一行目に現在のEQ 設定に関する情報が表示されます。EQ 設定に関する情報は、以下の5種類です。

プログラム番号：(P1~P30、U1~U30)

P1~P30はファクトリー・プリセット・プログラムで、U1~U30はユーザー・プログラムです。

ロー・パス・フィルター：(LPF)

ロー・パス・フィルターです。

フィルターはチャンネルごとに個別で設定が可能です。

ハイ・パス・フィルター：(HPF)

ハイ・パス・フィルターです。

フィルターはチャンネルごとに個別で設定が可能です。

ゲイン：(G+、G-、G=)

「G+」出力信号のゲインが強化されます。

「G-」出力信号のゲインレベルが減少します。

「G=」ゲインがゼロの状態。

ゲインはチャンネルごとに個別で設定が可能です。

チャンネルリンク：

チャンネルリンク機能がON の場合、「∞」が表示されます。

OFF の場合は「α」と表示されます。

EQ FUNCTION SELECT モード時にFUNCTION EDIT ボタンを回すと、ファンクションメニューをスクロール表示することが可能です。ツマミを回して編集したい機能を表示します。

FUNCTION EDIT を一回押すと、EQ FUNCTION EDIT モードになり、FUNCTION EDIT ボタンを回すと、設定値を変更出来ます。変更後にFUNCTION EDIT ツマミを再度押すと、EQ FUNCTION SELECT モードに戻ります。

チャンネルリンク

チャンネルリンク機能をONにすると、チャンネル1の全ての設定がチャンネル2にコピーされます。

その後、新たに行う設定もコピーされます。カーソルが左側パネルで点滅している場合、チャンネル1の調整可能で、右側で点滅している場合、チャンネル2が調整可能です。

ゲイン

出力チャンネルのゲインレベルをFUNCTION EDIT ツマミを回して調節します。調整範囲は ∞ ～+6dBです。

ロー・パス・フィルター (LPF)

ロー・パス・フィルターを使い、不要な高域をカットすることが可能です。スレッショルドの範囲は1kHz～20kHzで、1/6オクターブ間隔で設定出来ます。フィルターの設定は各チャンネルごとに行えます。

ハイ・パス・フィルター (HPF)

ハイ・パス・フィルターを使い、不要な低域をカットすることが可能です。スレッショルドの範囲は20Hz～1kHzで、1/6オクターブ間隔で設定出来ます。フィルターの設定は各チャンネルごとに行えます。

RECALL

設定したプログラムを再生出来ます。EQ設定を曲に応じて即座に変えることが出来る為、ライブイベントで便利な機能です。60種類のプログラムから選べます。(ファクトリー・プログラム P1～P30、ユーザー・プログラム U1～U30)

注意：

RECALLプログラムを再生すると、今までのEQ設定はチャンネル・リンク機能のON/OFFに関わらず、両チャンネルとも消去されます。**RECALL**プログラムを再生する前にSTORE機能で保存しておくことをお勧めします。

ストア

好みの設定を保存することが可能です。保存できる設定は30種類 (U1～U30) です。両チャンネルの次の情報が全て保存されます。

チャンネルリンクON/OFF

ゲインレベル

ロー・パス・フィルター周波数

ハイ・パス・フィルター周波数

全バンドのブースト/カット・レベル

※本マニュアル末尾にプログラムを書き込める30個のブランク・ダイヤグラムがあります。

キーロック

GRAPHIC とFUNCTION EDIT CONTROL を同時に押すとキーロック機能がONになります。解除するにはGRAPHIC、FUNCTION EDIT CONTROL を再度同時に押します。

オートストア

設定が変更されてから何も行わない状態が10秒以上が経過した場合、現行の設定が自動的に保存されます。

電源が切れても設定は保存されるので、突然の停電でも設定情報は消去されません。

RTAモジュール

コントロール・ディスプレイ

EQ/RTA インジケータが点灯している状態で、GRAPHIC EDIT ツマミを回し、RTA BAND SELECT モードにします。ツマミを再度回し、バンドを選択します。バンドを選択するとディスプレイ上に次の情報が表示されます。

チャンネル番号 (チャンネル1、2)
 バンドの中心周波数
 リアルタイム・レベル (ピークホールドがOFFの場合)
 ピーク・レベル (ピークホールドがONの場合)

ご注意：

RTA モジュールの場合は、右端のLED 列 (20K) は20kHzの信号レベルではなく、チャンネル全体のレベル表示です。

混乱を避けるため、20K LED 列の上には2種類の表示があります。

「▼—LEV」
 「▼—RTA/CH LEVEL」

FUNCTIONS

EQ/RTA インジケータが点灯した状態で、FUNCTION EDIT ツマミを回すと、RTA FUNCTION SELECT モードになります。

RTA FUNCTION SELECT モード中、ディスプレイの一行目に現在のRTA 設定に関する情報が表示されます。

5 種類の設定値が表示され、設定値はチャンネルごとに個別で調整が可能です。

・最初の2桁の数字は、バンド・レベル・ディスプレイの表示幅を示しております。ディスプレイ上で表示できる最大レベルが一桁目に表示され、ディスプレイ上で表示できる最小レベルが2桁目に表示されます。

注意：

EQ モジュールに設定されている場合は、バンド・レベル・ディスプレイの横に表記してある「+12、0、-12」という目盛のみ参照してください。本体がRTA モジュールの場合は、LEDの最低、最高レベルはユーザーが設定します。

・Weighting Type :

「A」・・・A Weighting
 「C」・・・C Weighting
 「F」・・・フラット設定

・シグナル・ソース :

「POST」と表示されている場合は、「POST EQ」信号です。
 「PRE」と表示されている場合は、「PRE EQ」信号です。

・ピンクノイズ :

ピンクノイズ機能がONの場合は、「P」と表示されます。

RANGE

バンドレベル・ディスプレイに表示されている信号レベルの範囲を設定可能です。設定する値は最大レベル、最小レベルの2種類です。

最大/最小レベル表示

MAX	MIN
+ 30	- 6
+ 21	- 15
+ 12	- 24
+ 6	- 30
0	- 36
- 12	- 48

この表を参照し、プログラムにあった表示範囲を選択して下さい。一方のチャンネルに入力信号があるにも関わらず、LEDの動きが殆どない場合は、表示範囲が高すぎる可能性がありますので範囲を低く設定して下さい。

RESPONSE TIME レスポンスタイム

測定値を平均化するのに要する時間を設定します。点灯しているLEDの高さにより、平均値を知ることが可能です。レスポンスタイムの値により、音圧の変化に対するLEDの反応速度が決まります。

音の種類によって、音圧が変化する度合が異なる為、信号レベルを正しく表示させる様に、測定する音の種類に合わせてレスポンスタイムを調整する必要があります。

選択できるレスポンスタイムは以下の通りです。

- 35m sec
- 125m sec
- 250m sec
- 1sec
- 2sec

Weighting Type

周波数特性によって、人間の耳が感知する音の大きさは変化します。この機能は、平均的な人間の耳が感じる音の大きさを正確に表示する為、音圧レベルの目盛を予め調整しておく機能です。

全帯域で音圧レベル (SPL) が均一だとしても、人間の耳には低域や高域よりも中域が大きく聴こえたりします。ところが、全帯域で音圧レベルを均一に増幅すると、低域と中域音の音量の違いが目立たなくなります。

この機能を使い、バランスの良い音作りをすることが可能です。

i7600 は2種類のweighting が調整可能です。

A weighting は低域がより良く聴こえます (40dB SPL @1kHz)
C weighting は高域がより良く聴こえます (100dB SPL @1kHz)

音声信号のSPLを直接図りたい場合は、F (フラット) に設定して下さい。

Unit of Measurement (dBu/dBV)

信号レベルの測定単位を選択可能です。
dbu は0.775V RMS (0dBu=0.775V)、
DBV は1V RMS (0dBV=1V) です。

Peak Hold(ピークホールド)

各バンドごとに最高信号レベルが記録されると、その値のLEDが点灯したままの状態となります。さらに高いレベルが記録されると、LEDの位置が移動します。

Signal Source(PRE EQ/POST EQ)

音源そのままの入力信号をレベル表示したい場合は「PRE EQ」に設定します。EQモジュールで加工された信号をレベル表示したい場合は「POST EQ」に設定します。

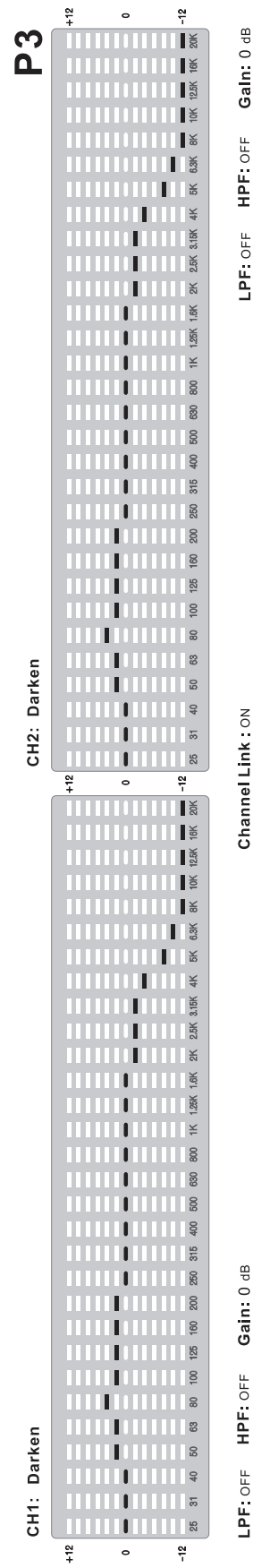
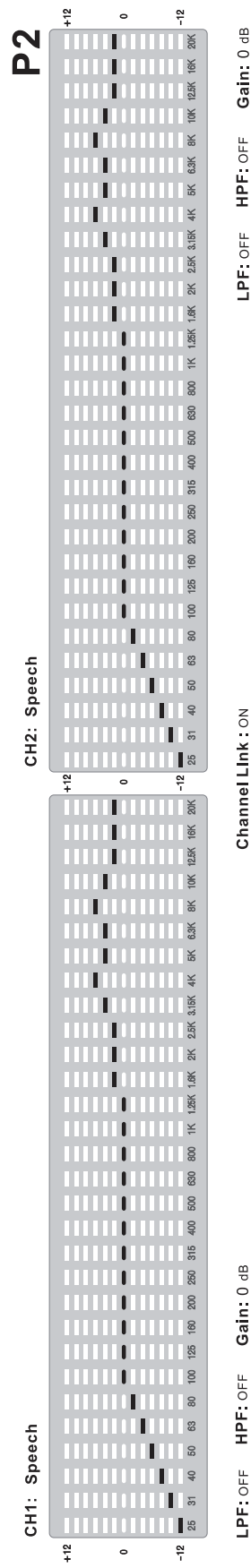
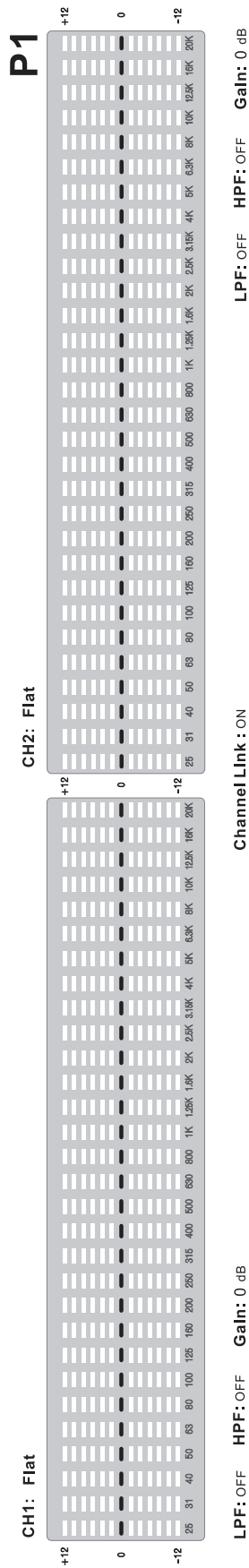
Pink Noise (ピンクノイズ)

i7600は持続的にピンクノイズを発生させることが出来ますので、システムのキャリブレーションが簡単に行えます。この機能をONにすると、本体背面のPINK NOISE OUT端子からピンクノイズが出力されます。

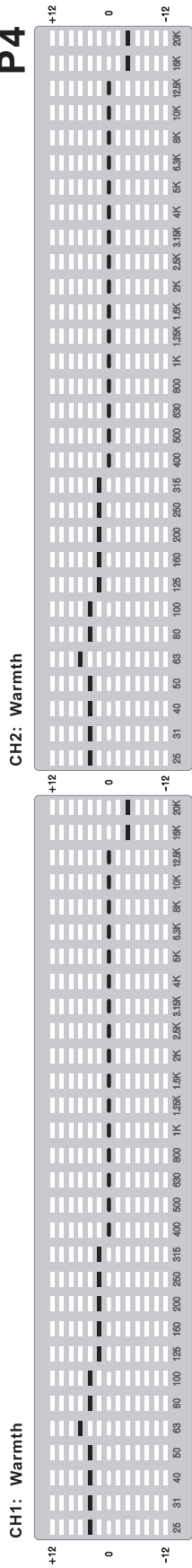
仕様

インプット：	
端子	バランスXLR and 1/4" フォン (combo)
通常作動レベル	+4 dBu or -10 dBV (determined by a rear panel switch)
インピーダンス	20k ohms
最大入力レベル	+16 dBu
アウトプット：	
端子	バランス XLR and 1/4" フォン
通常作動レベル	+4 dBu or -10 dBV (determined by a rear panel switch)
インピーダンス	220 ohms
最大出力レベル	+16 dBu
システム：	
周波数特性	20 Hz to 22 kHz, +/- 0.5dB
ダイナミック・レンジ	96 dB typical
THD	0.004% typical at +4 dBu, 1 kHz
S/N比	< -90 dB
クロストーク	< -80 dB, 20 Hz to 22 kHz
機能：	
EQ モード	Dual ISO-standard 30-band, 1/3-octave, 20 Hz to 20 kHz, LPF, HPF, channel gain
RTA モード	Response time, level view range, weighting, peak hold, pink noise
デジタル・プロセッシング：	
コンバーター	32-bit sigma-delta, 64/128-times oversampling
サンプリング周波数	44.1 kHz
プログラムメモリ	30 ファクトリ-プログラム(P1~P30), 30 ユーザー-プログラム (U1~U30)
電源：	
消費電力	15 W
電源プラグ	Standard IEC receptacle
サイズ：	
サイズ(WxHxD)	483 x 44 x 206 mm
重量	2.5 kg

ファクトリープログラム



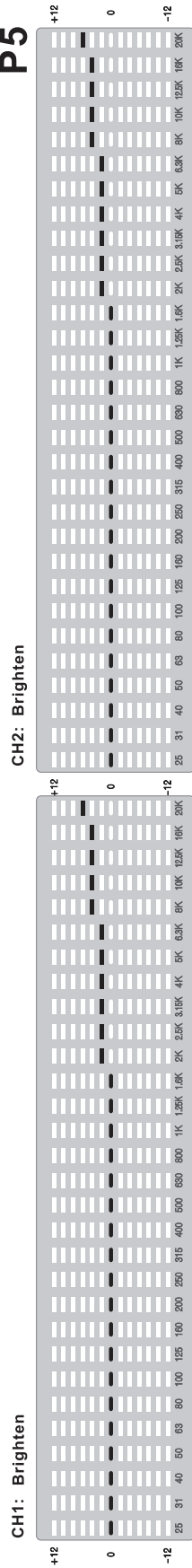
P4



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link: ON

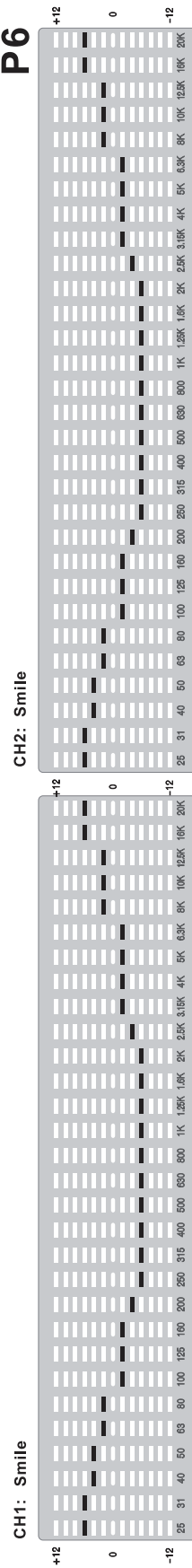
P5



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

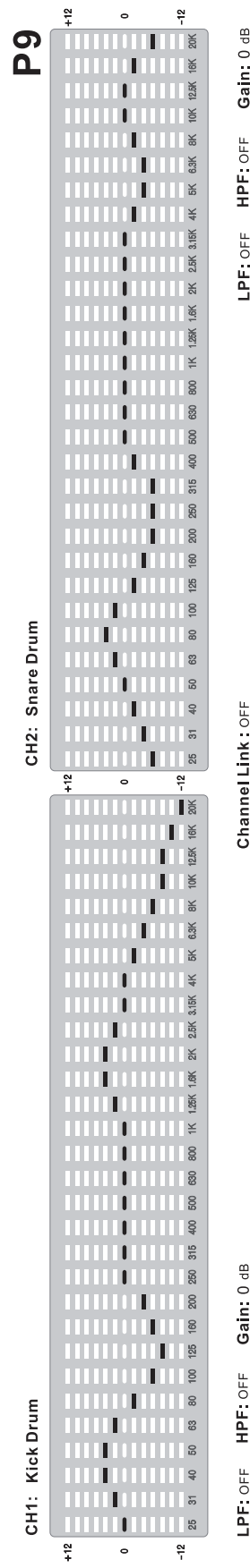
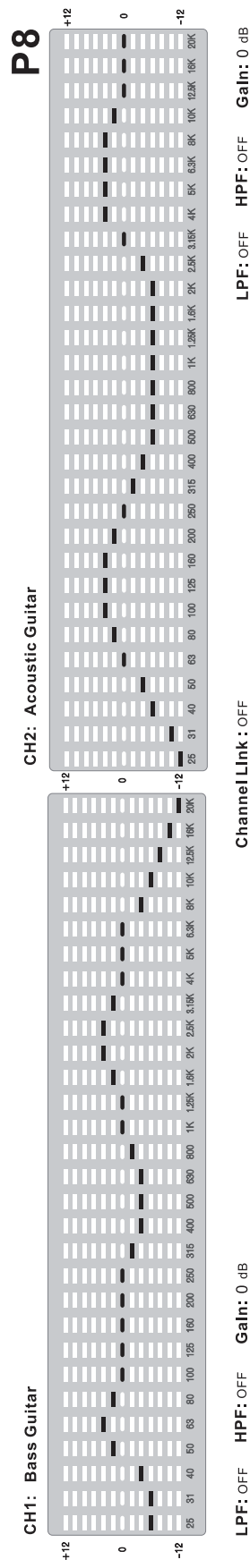
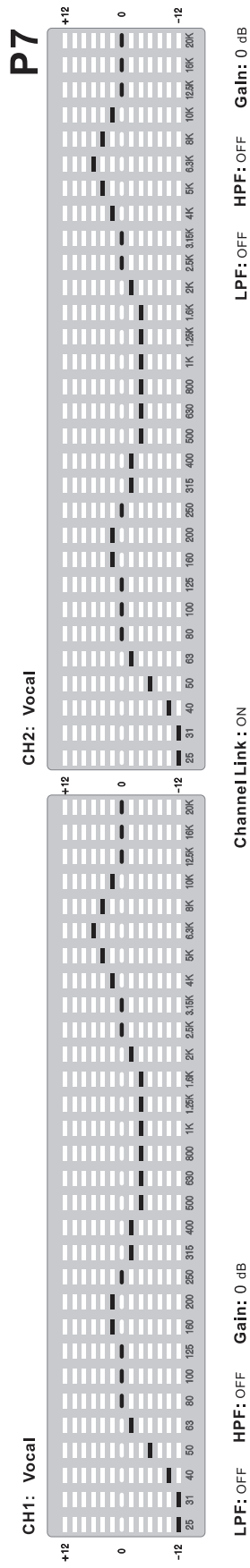
Channel Link: ON

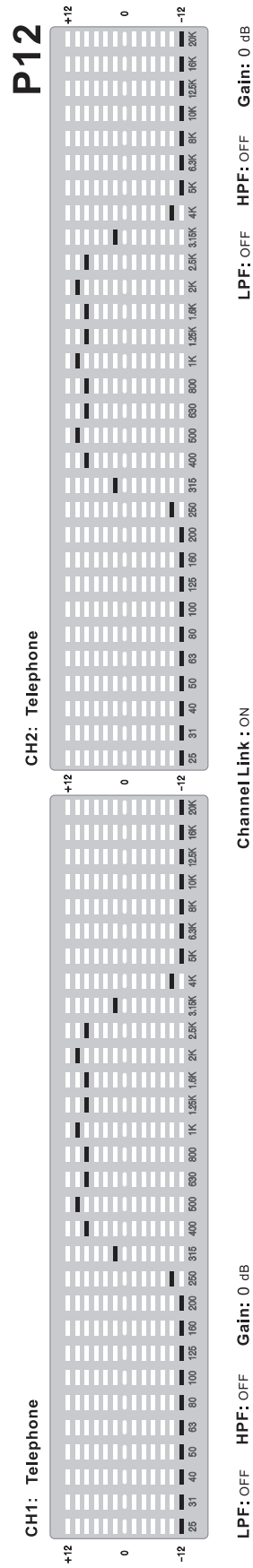
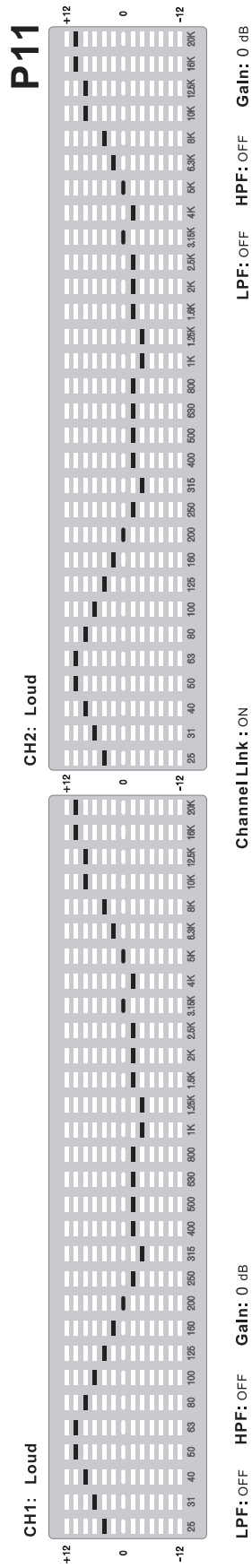
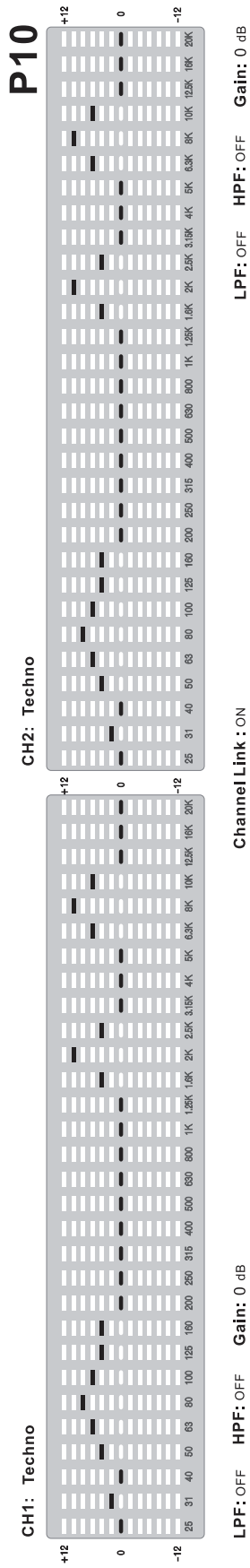
P6



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

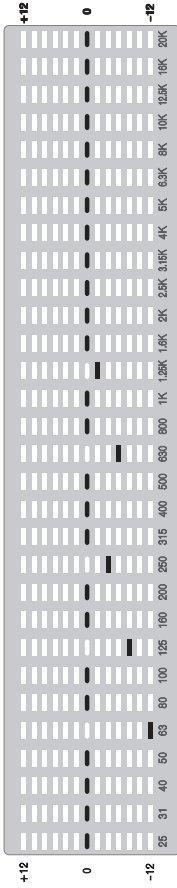
Channel Link: ON





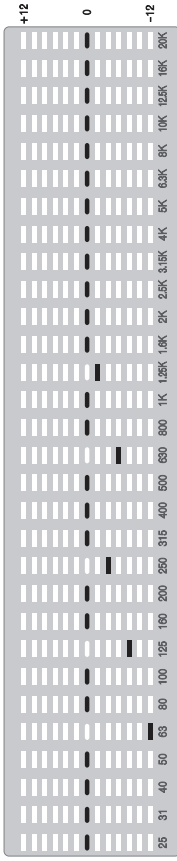
P13

CH1: Hum Reduction



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

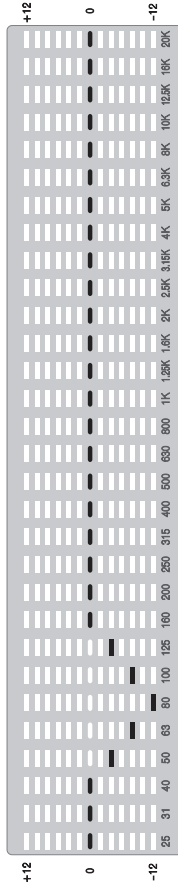
CH2: Hum Reduction



Channel Link : ON

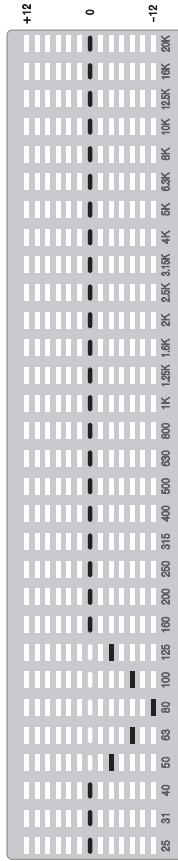
LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Narrow Cut (80 Hz)



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

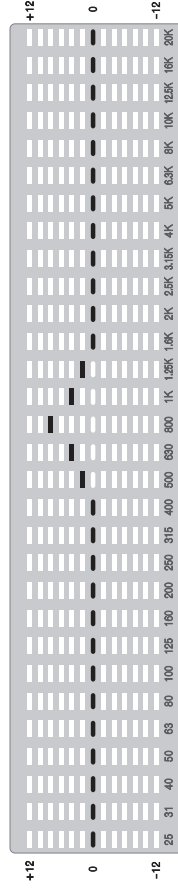
CH2: Narrow Cut (80 Hz)



Channel Link : ON

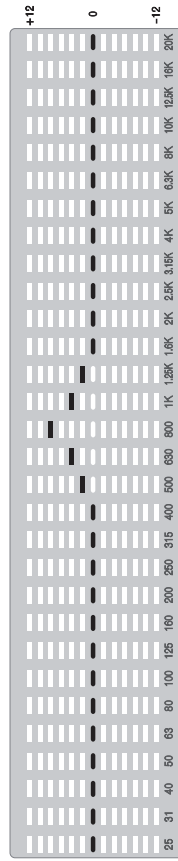
LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Narrow Boost (800 Hz)



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH2: Narrow Boost (800 Hz)

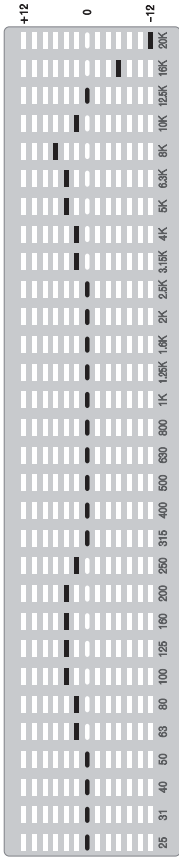


Channel Link : ON

LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

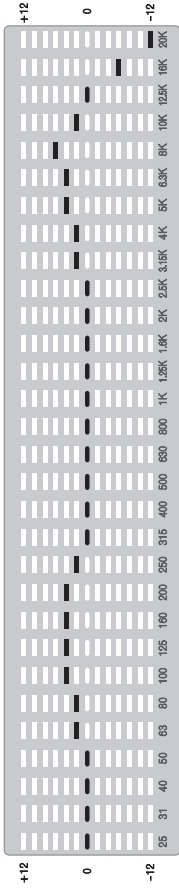
P16

CH2: Vinyl Warmth



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Vinyl Warmth

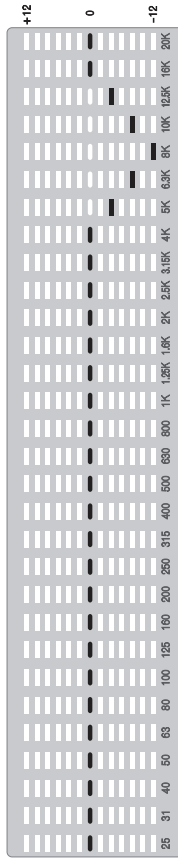


LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

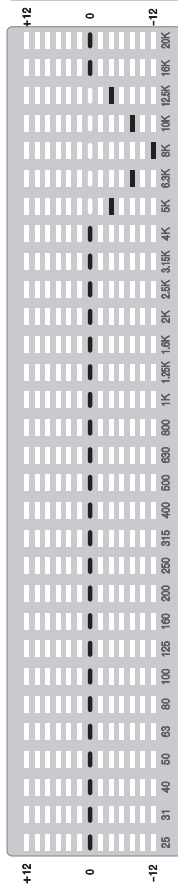
P17

CH2: Narrow Cut (8 kHz)



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Narrow Cut (8 kHz)

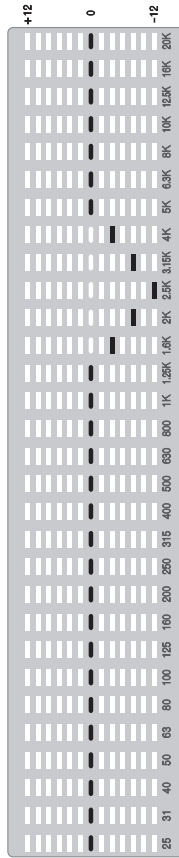


LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

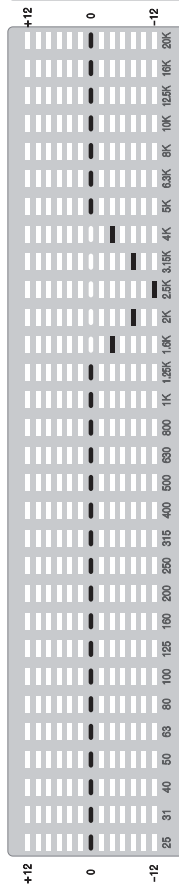
P18

CH2: Narrow Cut (2.5 kHz)



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Narrow Cut (2.5 kHz)

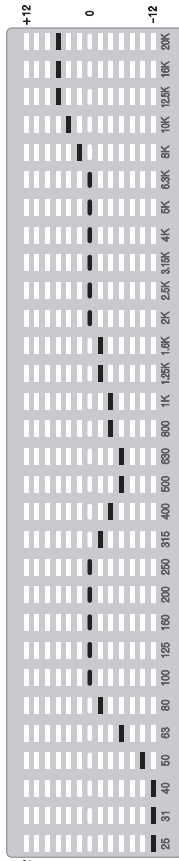


LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

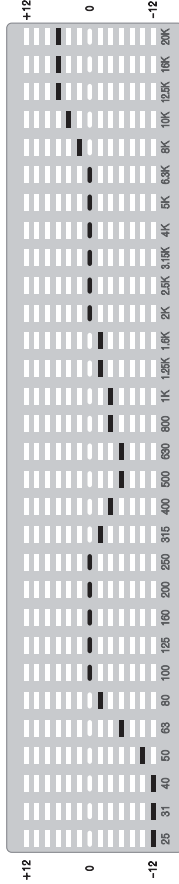
P19

CH2: Acoustic Guitar Air



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Acoustic Guitar Air

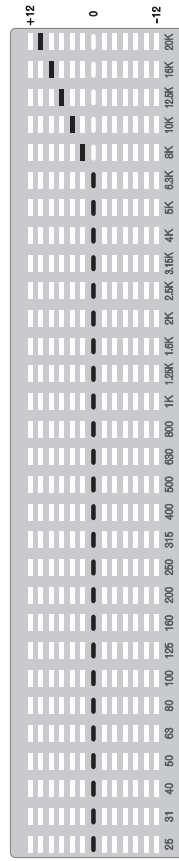


LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

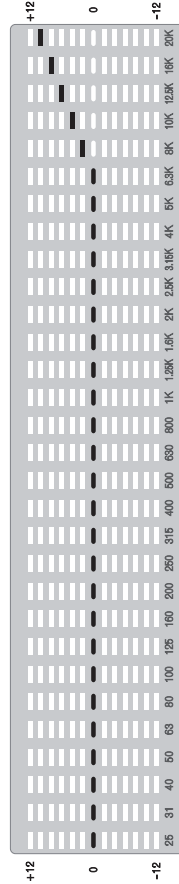
P20

CH2: Air Boost



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Air Boost



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

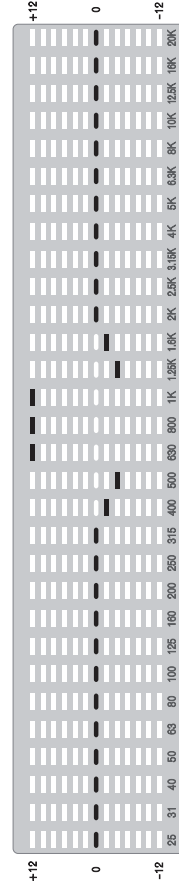
P21

CH2: Mini-TV



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Mini-TV

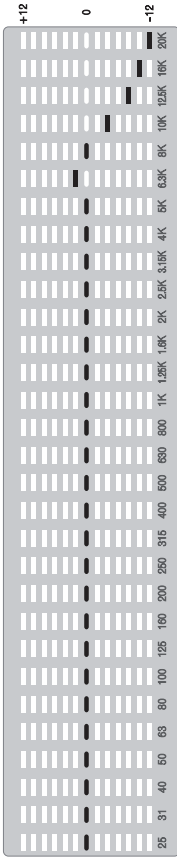


LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

P22

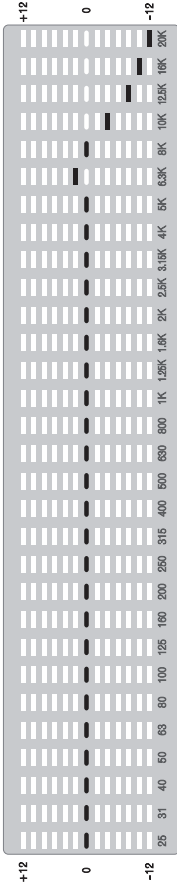
CH2: Tape Hiss Reduction



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

CH1: Tape Hiss Reduction



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

P23

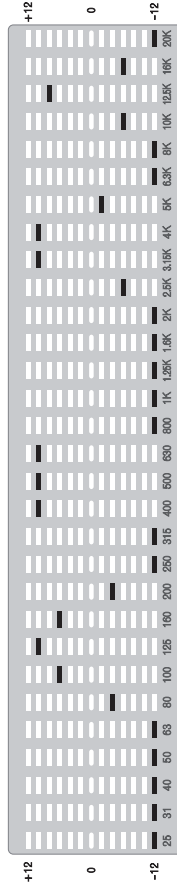
CH2: Bathtub



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

CH1: Bathtub



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

P24

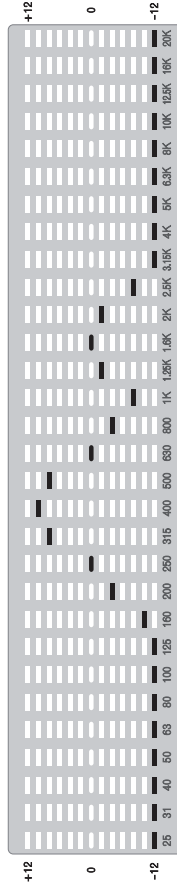
CH2: Cardboard Tube



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

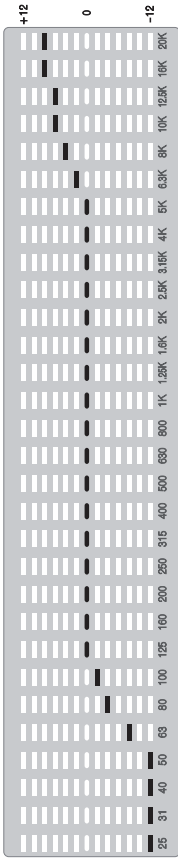
CH1: Cardboard Tube



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

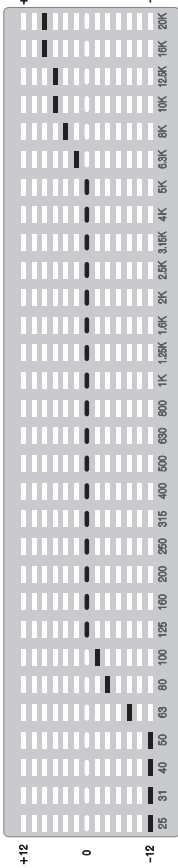
P25

CH2: Sizzle Cymbals



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Sizzle Cymbals

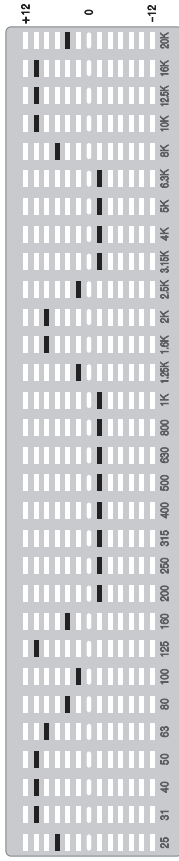


LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

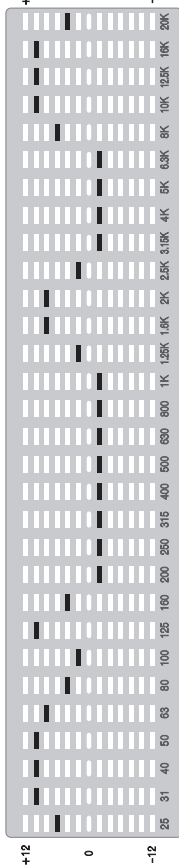
P26

CH2: Rap Drums Hype



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Rap Drums Hype

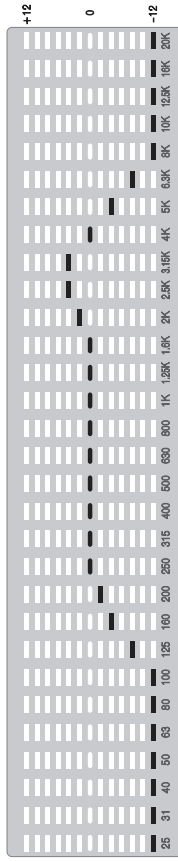


LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON

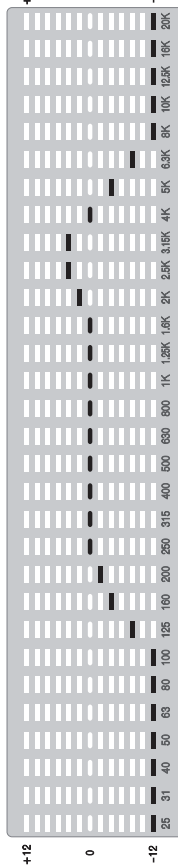
P27

CH2: Electric Guitar Bandlimit



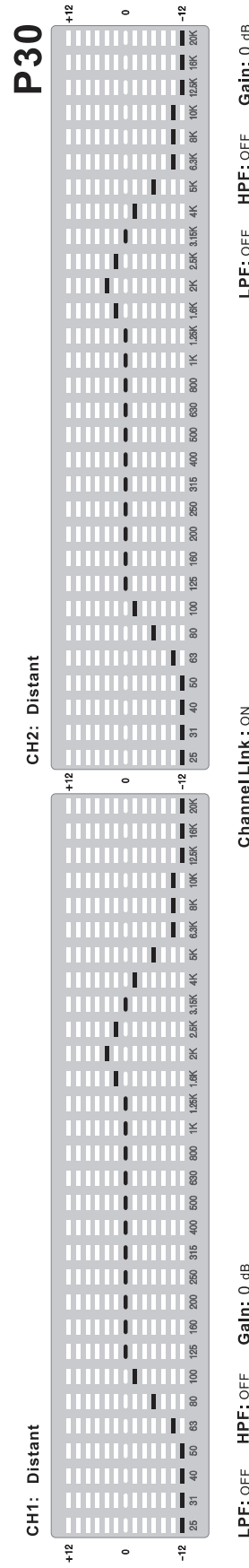
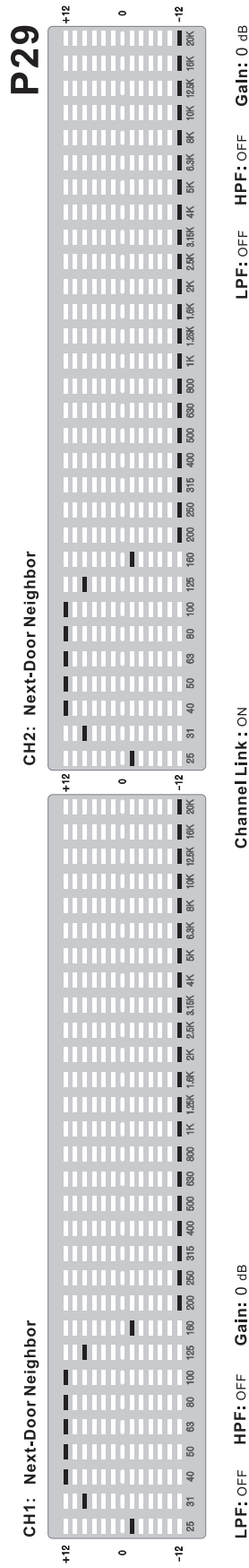
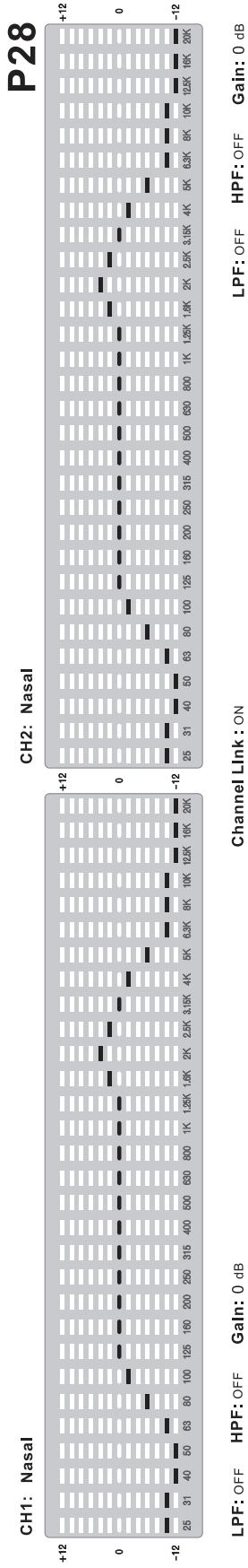
LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

CH1: Electric Guitar Bandlimit



LPF: OFF HPF: OFF Gain: 0 dB

Channel Link : ON



ユーザー・プログラム

U1

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U2

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U3

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U4

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U5

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U6

CH1: _____

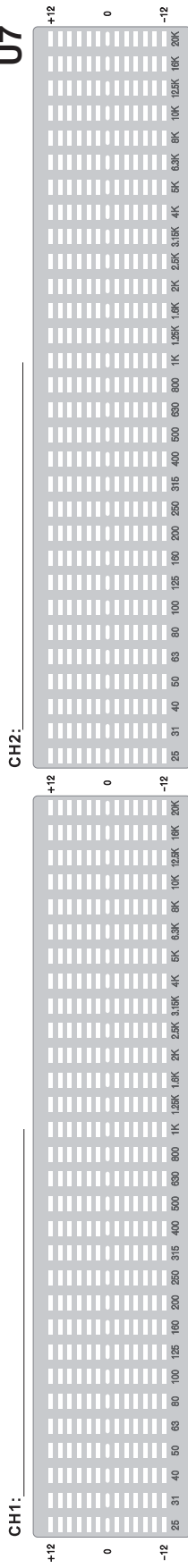
CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

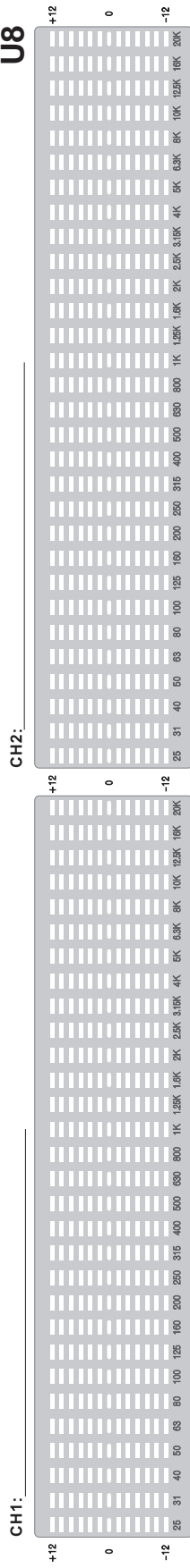
U7



LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB Channel Link : ON/OFF LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Description: _____

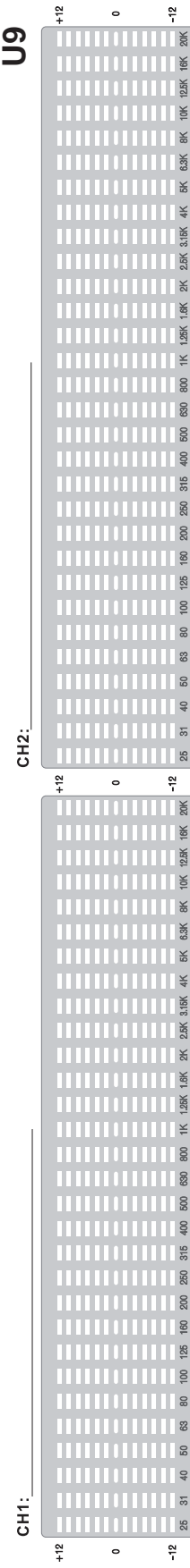
U8



LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB Channel Link : ON/OFF LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

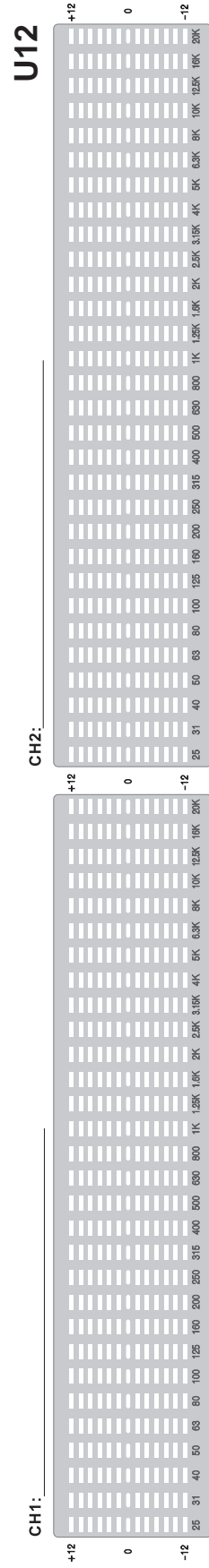
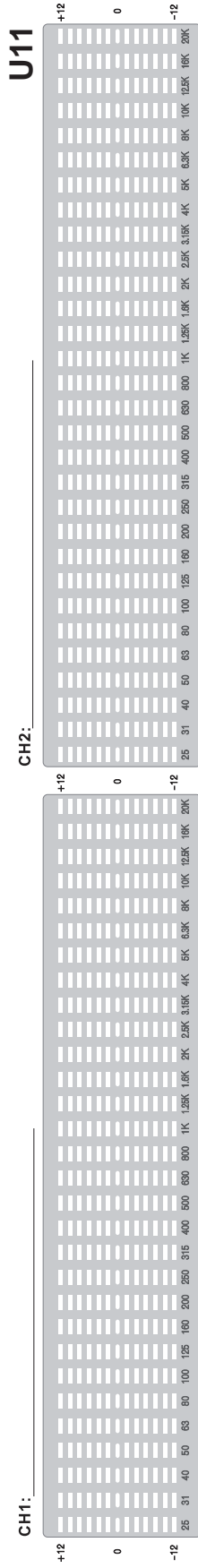
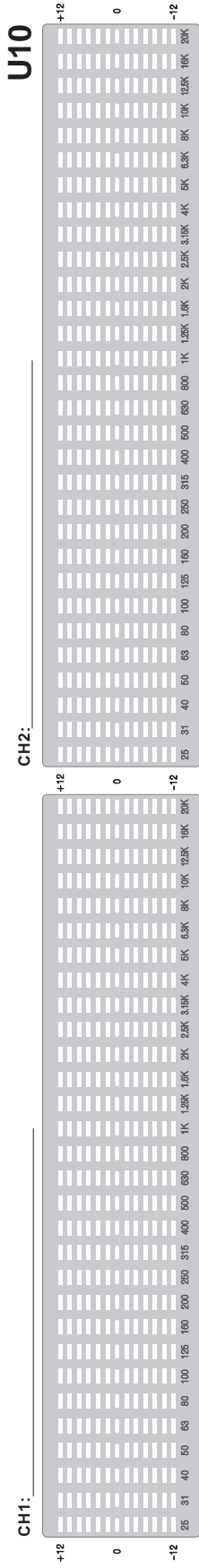
Description: _____

U9



LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB Channel Link : ON/OFF LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Description: _____



U13

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U14

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U15

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U16

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U17

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U18

CH1: _____

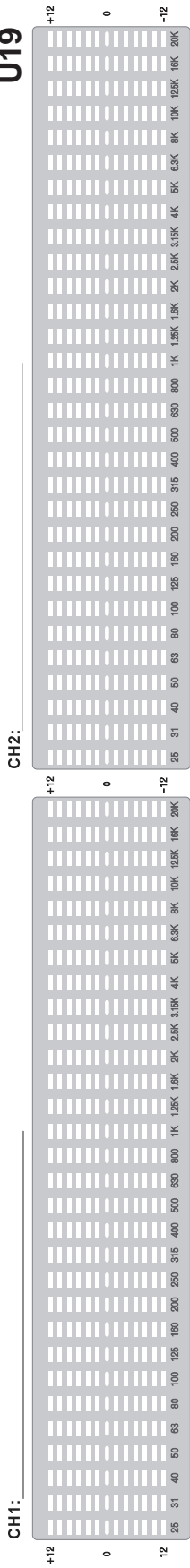
CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

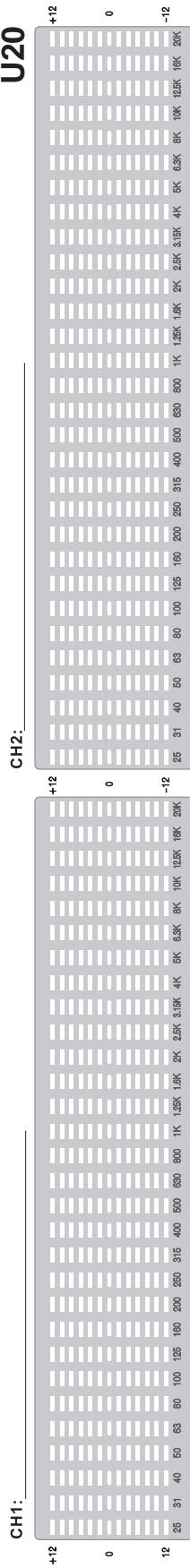
U19



LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB
 LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF Description: _____

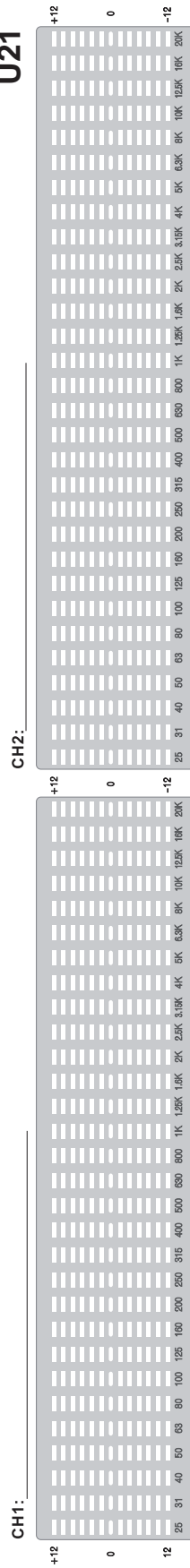
U20



LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB
 LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

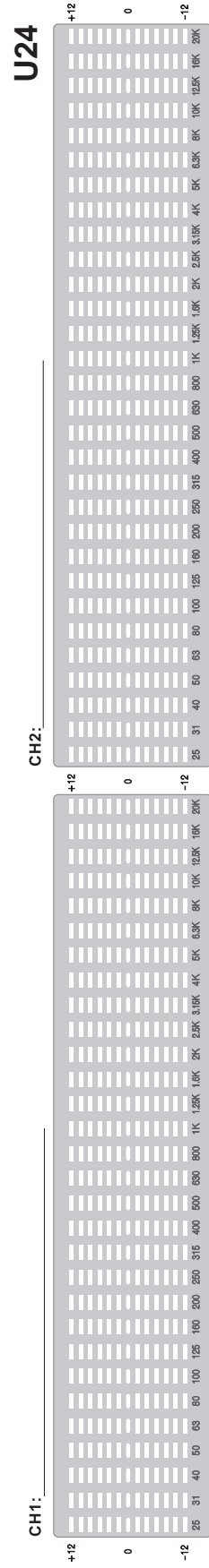
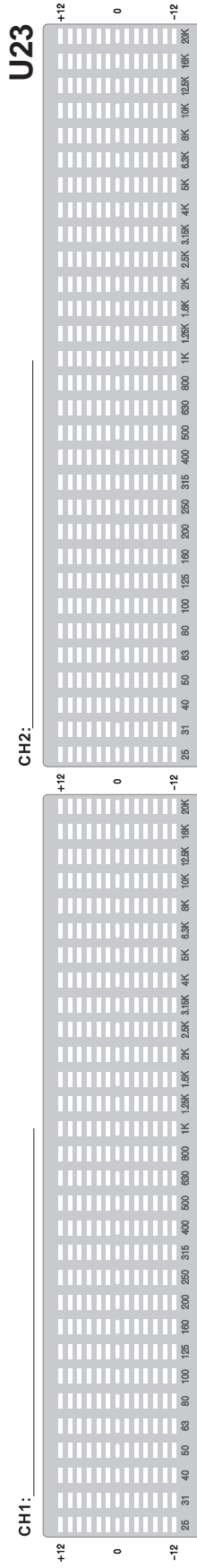
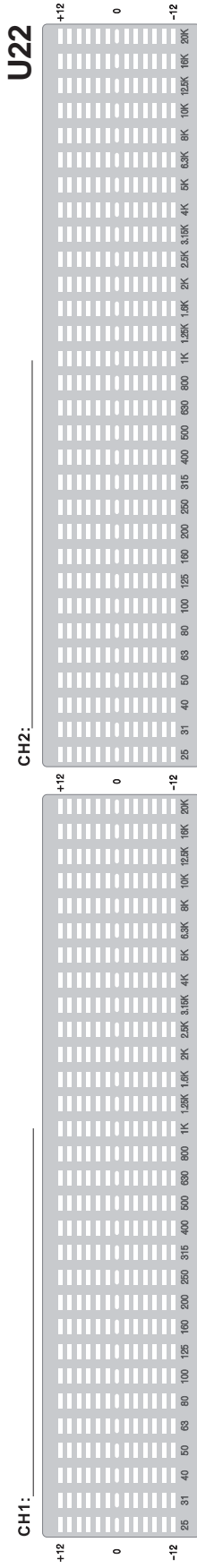
Channel Link : ON/OFF Description: _____

U21



LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB
 LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF Description: _____



U25

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U26

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U27

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/ _____ kHz HPF: OFF/ _____ Hz Gain: _____ dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U28

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/_____kHz HPF: OFF/_____Hz Gain: _____dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U29

CH1: _____

CH2: _____

LPF: OFF/_____kHz HPF: OFF/_____Hz Gain: _____dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

U30

CH1: _____

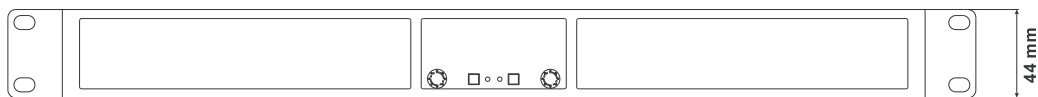
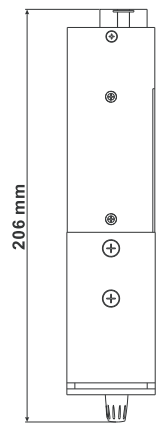
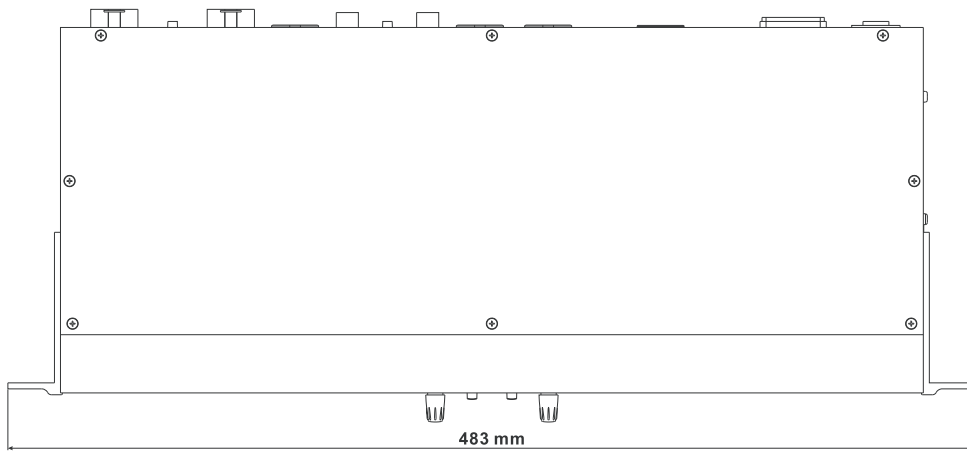
CH2: _____

LPF: OFF/_____kHz HPF: OFF/_____Hz Gain: _____dB

Channel Link : ON/OFF

Description: _____

寸法



PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/